

## ～6～7 か月頃の発達のめやす～

### からだの発達

- ・寝返りをする
- ・お座りをする
- ・欲しいものがあると手を伸ばしてつかもうとする
- ・わきの下を支えると足をピョンピョンし、はねたりする



### こころの発達

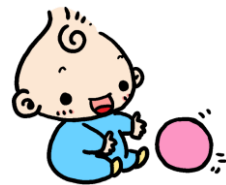
- ・人見知りが始まる
- ・相手をしてもらおうと喜ぶ
- ・親の話し方で感情を聞きわかる



## ～9～10 か月頃の発達のめやす～

### からだの発達

- ・つかまらせると立ってられる
- ・1人で座っておもちゃで遊べる
- ・タンスや机の引き出しを開け、色々なものを引き出す
- ・コップなどが使えるようになる



### こころの発達

- ・「イヤイヤ」「バイバイ」などの動作をまねする
- ・「ダメだよ」と言うときちょっと手を引っ込めて親の顔を見る
- ・気分の良い時と良くない時の声の差がある



## ～1歳頃の発達のめやす～

### からだの発達

- つたい歩きをする
- ひとり立ちをし、両手を引くと歩く
- 親指と人さし指で、小さなものをつまむことができる
- くし、ブラシなどをまねて使おうとする



### こころの発達

- 名前を呼ぶと振り向いたり、「ハイ」と返事をする
- 大人の手を振り向いたり、手を振る



## ～1歳6か月頃の発達のめやす～

### からだの発達

- めったに転ばないで歩く
- 手を引くと階段を上る
- クレヨン、鉛筆でなぐり書きをする
- 2個の積み木を積んで塔を作る



### こころの発達

- 「ワンワン」「ブーブー」など意味のある言葉をいくつか話す
- 簡単な言いつけに従える
- 絵本の中の犬や猫などを指さして選ぶ



～遊び～



遊びは子どもの生活の一部です。毎日の遊びの中で成長・発達をしていきます。子どもの成長に合ったおもちゃ選び・遊びをしましょう！

## ☆体を使って…

- ・ 鏡をつかって「いないいないバー」
- ・ 椅子に座ったお父さんやお母さんの足の上で「すべり台」
- ・ 毛布やシーツの上で「ハンモック」
- ・ 音楽やお母さんの歌、手拍子に合わせて、体を動かそう！



## ☆どんなおもちゃがいいかな？

- ・ 色がきれいで音が出るもの
- ・ 拭いたり、洗ったりできるもの
- ・ 壊れにくいもの



たいこやラッパ、タンバリン、ボール、あるいは日用品のおなべやしゃもじ、空箱などもおもちゃになります。初めは、大人が手をかけ、働きかけてください。大人が関わることで、遊びがさらに発展します。一緒に遊んであげましょう。

## ☆1歳をすぎたら…

- ・ 鉛筆、クレヨンでのなぐり書き
- ・ 水遊び、砂遊び、粘土遊び



・・・子どもに自由な発想で遊ばせましょう・・・

汚してもかまわないという気持ちで何でも経験させてあげましょう

## ～服装～

- ・赤ちゃんの動きをさまたげないデザインで、成長に合わせた服を選ぶ
- ・昼夜のリズムをつけやすくするために、昼間の服と寝る時の服は分ける
- ・薄着を心がける



## ☆ことばを育てよう！

ことばはからだの発育にともなって、ひとりでの話せるようになるものではありません。「ものを見ること」「耳で聞くこと」「手を使うこと」を土台として育っていくものです。

1歳頃まではその土台づくりです。ことばを話す頃といわれる年齢になってから、ことばを教えるのではなく、生まれた時から生活の中でことばの芽を育てましょう。

## ☆ことばの出やすい環境を作りましょう

- ・子どもの伝えたい気持ちを受け止めましょう
- ・子どもの見ているものなどに目をやり、声をかけながら関心や興味に寄り添いましょう
- ・「おいしいね」「痛いね」など行動や気持ちの代弁をしましょう
- ・音楽やお母さんの歌や手拍子に合わせて調子をとったり、からだを動かしたりして遊びましょう



## ☆ことばの理解を深めるために

- ・ 子どもの遊びに合わせて向かい合って、繰り返し話しかけましょう
- ・ 子どもにことばをかけながら、親も一緒に楽しく遊びましょう
- ・ 外での楽しい遊びをたくさん経験させてあげましょう
- ・ テレビのつけっぱなしはやめましょう

## ☆はっきりしたことば、発音を育てるために

- ・ 吹いたり、吸ったり、くちびるをしっかりと使わせましょう
- ・ 徐々に噛みごたえのあるものを食べさせ、あごの発達を促しましょう

